

行雲流水

No.263 令和4年11月4日発行

校長あいさつ

校長 寒河江 正人

あらためまして、みなさん、こんばんは。
お仕事でお疲れのところ、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。
また、日頃より本校の教育活動にご理解ご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、皆様方のお子さまの「卒業証書授与式」まで、あと**132日**。
授業日数のみで数えますと、あと**85日**を残すのみとなりました。
中学3年生の1年間は、本当にあっという間ですね。

これから、この限られた日数と時間の中で、
国公立・私立の高校・高専等の入学者選抜の出願事務と選抜試験が行われます。
皆様方の中には、お子さまの受験が2回目、3回目、複数経験しておられる方も
いらっしゃるかと存じます。一方、初めてなんですという方もおられるでしょう。

本校の教職員には、次の**3点**を指示いたしました。

1点目。受験事務、受験指導には、豊富な指導経験が必要であります。
一方で、知ったかぶりや慣れは、そこから生じるミスの原因にもなりかねません。
毎年、特に私立は、少しずつ受験事務等の制度設計の内容にも変更が生じます。
大切なことは、「今年度の、直近の、正確な、入試選抜情報」を保護者・生徒に確実に提供するということにあります。

2点目。**保護者の目線で、生徒の目線で、具体的に、わかるように説明をする**ということ
であります。

「伝える」と「伝わる」は、似ているようでも、違います。
教師が「**確かに伝えたよ。**」といっても、相手に正しく理解されていなければ、
「**確かに伝わった。**」ということにはなりません。
保護者の皆様におかれましては、遠慮なさらず、三者面談の機会等を有効に活用しながら、
わかりにくいところは、何度でもわかるまで、質問なさって理解を深めてください。
上の子の時は、こうだったから、などと過去の経験の思い込みに頼って勝手な判断をせず
に、お子さまのために「**直近の情報を正しく理解する**」ということが大切であります。

3点目。受験事務には、提出完了の期限、出願完了の締め切り期限があります。

保護者の皆様とお子さま本人が、時間と心にゆとりをもって検討したり、判断・決断できるように、時間的な見通しをもって、学校と保護者・生徒がやりとりをするということが大事であります。

保護者の皆様におかれましては、お子さまと提出の期限ギリギリになってから、言い争いの中で、慌てふためいて決めなくてもいいように、見通しをもって相談を進めていただきたいところであります。

以上、3点について、本校教職員一丸となって、**適正な出願事務・受験指導等**を進めて参りますので、**お子さまそれぞれの来春の進学先での自己実現**に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、

皆様もご承知のとおり、本校では「**生徒の健康と生命の安心安全を最優先**」に経営判断し、感染防止対策の徹底に努めております。

現時点におきましては、私ども本校の教職員は、酒席等の会食を一切設けず、参加せず、さらに、不要不急の県外への往来等も極力控えるようにしております。

すべては、「**授業を含めた教育課程**」を安定して、維持継続するためであります。皆様の「**お子さまの学習権を保障するため**」であります。これから進路に関わる最も大切な時期を迎える3年生ならば、なおのことです。

ましてや、体調を崩して受験できないという事態は、絶対に避けたいものです。

どうかどうか、ご家庭でも、ご家族みなさんで
これからの時節、健康の維持に十分ご留意・ご配慮をいただき、
「**授業を含めた教育課程**」が、安定して実施できますよう、
特段のご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

それでは、**お子さまの来春の進路実現**に向けて、
この後の説明等をしっかりとお聴きいただきまして、
ご家庭での相談や準備等、よろしくご対応願います。